

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



ディトナハウスは、スタート当初から「BASE」という言葉の意味を考えながら、新しい建築カタチと生活について考えてきました。この「BASE」には土台や基礎という意味もありますが、ここでは拠点や基地という意味合いで使っています。アクティブな遊動生活。その出撃基地で断続的に楽しい人生にアタックするためのベースキャンプ。私達は、そういった住む人が、チャレンジングで創造性溢れる生活を送れるような建築を目指しています。

もちろんこの出撃とは外に遊びに行くだけとは限らず、DIYやメンテといった作業や、イメージの世界を旅することも大事な要素です。ガレージアパートGLBの原型は、このようなコンセプトで開発し、オリジナルの形状は、世田谷ベース増築時のカタチを踏襲したものです。世田谷ベースでは奥行きを重視した設定でしたが、今回は敷地形状やクルマの幅に考慮した、間口3スパン×奥行き3スパンのニューバージョン。敷地形状の様々な縦横比率に

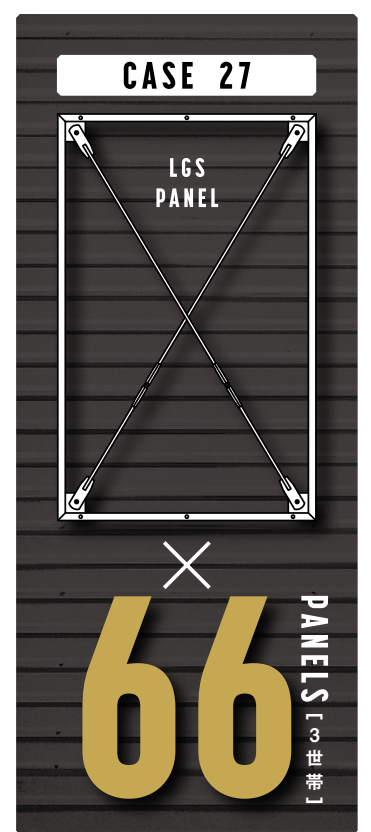
対応できるようになっています。プランは至ってシンプル。奥行きが従来型から1スパン縮小した分、間口が3スパンに広がり、らせん階段をガレージ空間の外に設置できるようにしました。これによって大型車を格納しても乗り降りが楽にできるスペースを確保しています。また、ディトナハウスの存在が空間に更なるメリハリと鋼鉄素材感の喜びをもたらしています。毎日、朝日に照らされた階段を下りて、さあ出撃です！

Monthly Theme

## 3スパン×3スパンの正方形タイプ登場 ガレージアパートが生む新感覚

土地形状にフレキシブルに対応するために、従来の奥行き重視型のGLBに加えて、新たに登場した正方形タイプのガレージアパートです。

ディトナが提案する  
新しい建築のカタチ



What's DAYTONA HOUSE ?

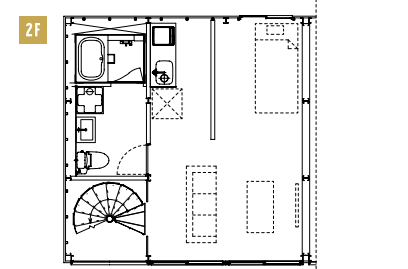
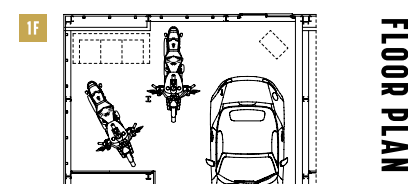
ディトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、ディトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがディトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

● INFORMATION  
LDKinc.

代表:玉田敦士  
www.ldk.co.jp  
03-6228-4933

ディトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。



FLOOR PLAN

2F居室の内部イメージです。ベッドスペースからリビングスペースを見ているカット。適度な艶消し黒の骨組みの露出で醸し出されるハードボイルド感とインナーグリーンが呼応して賃貸住宅とは思えない愛着の空間になります。天井、床下、外壁面といずれも高性能断熱で居住性もばっちりです。

2F Interior



ガレージ空間。左奥に見える一本貫かれた分解式らせん階段「ダイナソーボーン(恐竜の背骨)」の艶消し黒の素材感と愛車のコントラストがたまらない。オリジナルの棚金物「FASブラケット」を多用して自分オリジナルのガレージ空間を演出したい。毎日の出撃シーンを想像してみてください。

1F Interior

シンプルな正方形プランが新鮮なニュータイプのGLB。クルマ1台+バイク2台が楽々格納できる。らせん階段で貫かれた上下階の一体感がメゾネットであることを実感させてくれます。思い切って水まわりを1Fに持っていけば、居住スペース重視のプランにもなります。余分な導線や廊下が一切ない合理的なプランです。